

50:16 しかし悪しき者に対して神は仰せられる。「何事か。おまえがわたしのおきてを語りわたしの契約を口にするとは。

50:17 おまえは戒めを憎みわたしのことばをうしろに投げ捨てた。

50:18 おまえは盗人に会うとこれと組んで姦通する者と親しくする。

50:19 おまえの口は悪を放ち舌は欺きを仕組む。

50:20 おまえは座して兄弟の悪口を言い自分の母の子をそしる。

50:21 こういうことをおまえはしてきたがわたしは黙っていた。わたしがおまえと等しい者だとおまえは思っていたのだ。わたしはおまえを責める。おまえの目の前でこれらのことを並立てる。

50:22 神を忘れる者どもよさあこのことをよくわきまえよ。そうでないとわたしはおまえたちを引き裂き救い出す者もいなくなる。

50:23 感謝のいけにえを献げる者はわたしをあがめる。自分の道を正しくする人にわたしは神の救いを見せる。」

主を忘れて、またはないがしろにしている「悪しき者」に対しては、主は沈黙をもって警告なさることが多いのです。主に従わなくても何も悪いことが起きないからと、慢心していることができません。主との関係がなくなっていることが恐いことなのです。主からの語りかけがないことが恐いことなので

す。「感謝のいけにえをささげる者は、わたしをあがめる。自分の道を正しくする人に、わたしは神の救いを見せる。」というこのみことばに、希望があります。そのようにしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたなどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

